

第4章 産業経済

第1節 農 林 業

1 農業委員会

本委員会は19人（定員19人）の農業委員で構成され、月1回（年12回）の定例総会を開催し、農地法の規定による届出書、許可申請書等の審査及び農業に関する諸問題を協議した。

また、22人（定員22人）の農地利用最適化推進委員が農地の集積、集約化の推進を図るため現場主導の委員として活動した。

また、広報活動として「農業委員会だより」を3回発行した。

(1) 主な委員会活動

ア 農地法にかかる許認可事務

イ 農業経営基盤強化促進法に基づく経営規模拡大のための農地利用集積の推進

ウ 農地法に基づく無断転用防止対策及び指導並びに遊休農地解消対策に基づく農地パトロールの実施

エ 農業者年金加入推進及び給付手続並びに受給者現況届出事務

(2) 農地法に関連した申請

項 目		件 数	面 積			
			田	畑	計	
農地法第3条	許 可	所有権移転	24 ^件	76.5 ^{アール}	275.4 ^{アール}	351.9 ^{アール}
		使用貸借・賃貸借権設定	1	11.7		11.7
		生前一括贈与	10	13.4	103.7	117.1
第4条	届出	52	152.6	115.4	268.0	
	許可	10	83.9	0.9	84.8	
第5条	届出	134	297.3	357.6	654.9	
	許可	32	28.6	125.1	153.7	
小 計		263	664.0	978.1	1,642.1	

項 目	件 数	面 積		
		田	畑	計
計 画 変 更	1 件	アール	16.4 アール	16.4 アール
農業経営基盤強化促進法による計画申請	160	849.3	3,094.6	3,943.9
非農地現況証明	4		18.6	18.6
農地法第18条第6項の通知	8	28.3	177.2	205.5
買受適格者証明（競売）	2	9.1	8.0	17.1
相続税・贈与税の納税猶予制度にかかわる適格者証明	5	33.8	116.7	150.5
農地法関係証明	146	—	—	—
農地転用事実確認証明	22	—	—	—
国有農地管理事務取扱	18		28.5	28.5
小 計	366	920.5	3,460.0	4,380.5
合 計	629	1,584.5	4,438.1	6,022.6

(3) 農業者年金の状況（平成31年3月31日現在）

新農業者年金被保険者	9人
旧農業者年金被保険者	40人
農業者年金受給者	269人

2 農業振興事業

従事者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加などの厳しい環境のなかで、農業振興を図るため、認定農業者制度や農地利用集積を推進することで、意欲ある農家の育成に努めるとともに、中山間地域における荒廃農地の発生を防止し、農地の多面的機能を確保するため、中山間地域等直接支払制度による補助等を実施した。また、AOI-PARCにおいて、優秀な経営者マインドを学ぶための「農業経営者座談会」を開催した。

さらに、学校給食における地場産品の利用促進や、地元の食材の生産過程や生産者の苦勞などを学ぶ「食育DAYキャンプinぬまづ」や「食育体験ツアー」、「沼津Local Food Meeting」を実施するなど「地産地消」に取り組んだ。

事業名	事業費	補助金	概要
中山間地域等直接 支払制度実施事業	19,618 千円	19,446 千円	集落協定 9集落
地産地消総合推進事業	2,924	2,410	・沼津農林まつり開催 ・戸田さんさんまつり農産物品 評会開催 ほか
沼津の農産物振興事業	2,276	2,276	・沼津茶消費拡大推進事業 ・みかん品種転換促進事業 ほか

3 林業振興推進対策事業

森林の有する多面的機能が持続的に発揮される森林整備を推進した。

香貫山、千本松原、戸田生活環境保全林は保安林としての機能維持、さらには生活環境保全機能を有した森林として、市民の保健・文化・教育的な利用に供することを目的に管理を実施した。

また、造林、間伐等林業事業を実施している戸田森林組合に対し、補助を行った。

4 林道整備事業

森林資源の保全と林業振興を図るため、林道整備事業を実施した。

区分	事業費	概要
林道整備事業	10,866 千円	空洞線改良工事 165.9m ほか

5 松の材線虫防除事業

松の材線虫による被害の拡大を防止するため、松林の枯損木の除去、薬剤散布等を実施した。

事業費	34,693千円	
地上散布	千本松原ほか	延べ230.6ha
薬剤樹幹注入	千本浜公園ほか	2,946本
枯損木除去	64.7 m ³	

6 有害鳥獣等対策事業

野生鳥獣による農林業被害に対し、沼津市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣捕獲を実施するとともに、沼津市鳥獣被害対策実施隊による、実効性の高い被害防止対策を行った。

また、有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣防護柵等の設置にかかる補助を行うとともに、狩猟免許の取得にかかる補助を行った。

7 畜産振興事業

畜産業に起因する環境問題対策を推進するため、死亡獣畜処理事業及び畜舎一斉防除事業に対する補助を行ったほか、畜産物の安全性確保のため、自衛防疫事業を実施した。

(1) 畜産業振興推進対策事業

事業名	事業主体	補助金	概要
死亡獣畜処理事業	畜産農家	152 ^{千円}	成子牛 12頭 牛 1頭
畜舎一斉防除事業	南駿農業協同組合	225	受益農家数 8戸

(2) 自衛防疫事業

(単位 頭)

家畜種類	内容	実施数
牛	流行熱・イバラキ病混合予防注射	84
牛	異常産3種（アカバネ病含む）混合予防注射	83
牛	伝染性鼻気管炎6種混合予防注射	96
牛	牛下痢5種混合予防注射	35
豚	日本脳炎・パルボ混合予防注射	23
計		321

第2節 土地改良事業

農業基盤整備により生産性の向上を図り、農業経営の安定に資するため、国及び県の補助事業、市の単独事業等を実施した。

1 国補助事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
団体営ため池等 整備事業	ため池	7,011 ^{千円}	沼川地区 実施設計

2 県補助事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
県単独土地改良事業	農 道	27,415 ^{千円}	施工延長 158.0m

3 市単独事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要	
改 良	農 道 水 路 ポ ン プ	2,592 ^{千円}	施工延長 19.0m	
		2,527	施工延長 24.0m	
		1,296	更新 一式	
維 持 補 修	農 道 水 路 浚 渫 ポ ン プ・ 水 門 そ の 他	11,116	井田地内農道修繕工事ほか 63件	
		2,362		
		5,140		
		3,376		
工 事 材 料 支 給	農 道 水 路	8,577	生 コ ン	82.2 ^{m³}
			砕 石 ・ R B 材	1,179.5 ^{m³}
			ア ス フ ァ ル ト 合 材	75.0 t ほか
そ の 他	そ の 他	19,576	沼川新放水路用地取得 委託、負担金 676.9 ^{m²} ほか	

4 県 営 事 業

区 分	事 業 費	負担金等	概 要
県単独農業農村整備調査事業	3,204 ^{千円}	1,602 ^{千円}	松毛川地区、西浦みかん江梨西部地区
耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業	2,268	454	沼津原浮島
畑地帯総合整備事業	764,000	152,800	重須地区 西浦みかん（江梨、東部、足保久料、立保古宇）地区
ため池等整備事業	4,200	61	沼田新田地区
水利施設整備事業	92,660	15,538	大平徳倉排水機場、浮島排水機場
農村災害対策整備事業	104,895	493	沼川水系地区
中山間地域総合整備事業	18,680	2,802	戸田饗の里
土地改良施設耐震対策事業	756	25	大平徳倉排水機場

第3節 水 産 業

水産業の活性化と振興を図るため、出漁促進事業などへの補助及び漁港施設の整備事業を実施した。

1 水産業振興事業

事業名	事業主体	事業費	概要
漁業近代化資金 利子補給事業	静岡県信用漁業協同組合連合会 (沼津支所)	千円 4,707	利子補給 35件
水産物流通 促進事業	沼津魚市場株式会社	2,245	水揚奨励
出漁促進事業	沼津魚市場株式会社 静岡浦漁業協同組合	9,730 836	出漁奨励

2 漁港施設整備事業

(1) 県営漁港事業

事業名	事業費	負担金	概要
静岡浦漁港整備事業	千円 3,689	千円 1,230	県単独事業 中里岸壁車止設置工事
戸田漁港整備事業	8,950	1,790	港整備推進交付金事業 大中島岸壁コンクリート舗装工事 機能保全事業

(2) 市営漁港事業

事業名	事業費	概要
漁港維持事業	3,664 ^{千円}	西浦漁港堆積土砂撤去修繕工事 ほか
市営漁港機能保全事業	25,917	水産物供給基盤機能保全事業 内浦漁港重須2号物揚場護岸機能保全工事に伴う 測量設計業務委託 ほか 長浜3号護岸改修工事 ほか

第4節 商 工 業

1 中小企業金融対策事業

中小企業の健全な育成に資するため、その事業活動に必要な資金を貸し付けた金融機関等に利子補給金を交付し、事業資金の融資の円滑化を図った。

制度名	利子補給額	年度中貸付実行		年度末貸付残高	
		件数	金額	件数	金額
小口資金利子補給	15,282,404 ^円	146 ^件	478,810,000 ^円	632 ^件	1,275,396,700 ^円
近代化資金等 利子補給	1,644,863	0	0	32	372,694,000
短期経営改善資金 利子補給	1,983,777	177	1,107,050,000	71	440,600,000
計	18,911,044	323	1,585,860,000	735	2,088,690,700

○小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給

沼津商工会議所又は沼津市商工会の推薦を受け、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金（マル経融資）を借り受けた市内小規模事業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 95件 補給額 2,469,597円

○開業パワーアップ支援資金等利子補給

静岡県が実施する開業パワーアップ支援資金又は日本政策金融公庫が実施する新創業融

資制度による資金を借り受けた創業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 5件 補給額 80,593円

2 商工業振興事業

商工業の振興を図るため、中心市街地でのイベント開催や企業誘致など商工業の活性化を目的とした事業を推進するとともに、各種商工業団体への支援を実施した。

(1) 商業振興事業

事業名	事業内容
まちなか賑わい創生事業	各種団体等が市街地エリアで行うイベント等の補助を行う「まちなか賑わい委員会」の運営を支援した。
よさこい東海道開催事業	商業者が中心となって行う「よさこい東海道2018（第22回）」の開催を支援した。
沼津自慢フェスタ開催事業	沼津の誇るべき物産や食文化、音楽などを一堂に集めたイベント「沼津自慢フェスタ2018」の開催を支援した。
沼津まちあるきステーション運営事業	ウォーキングやランニングイベント等を通じた狩野川の水辺空間におけるにぎわいづくり及び沼津の自然などの様々な魅力を発信する「沼津ランニング&スキルズステーション」を運営した。
狩野川にぎわい創出事業	「沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会」と連携し、上土町周辺の狩野川右岸階段堤の利用促進に向けた取り組みとして、「水辺のステージ」などのにぎわい事業や情報発信等を行った。
ぬまづまちあるきマップ推進事業	中心市街地と沼津港のまちあるきを楽しむため、親しみのもてる手書き地図を作成し、webでも閲覧可能とするとともに、地図を印刷したクリアファイルを作成した。
ぬまづ未来Talk実施事業	行政と若手商業者等で定期的に意見交換会を開催し、公民連携によるまちづくりの推進を図った。

(2) 工業振興事業

事業名	事業内容
ロボット工作教室事業	小学生から高校生までを対象とした自律移動ロボットの製作や制御プログラミングの講座開催を支援した。
地域資源活用開発支援事業	中小企業（製造業）が行う地域資源を活用した新製品の開発や提供等に要する経費の一部を支援した。
伝統技能体験事業	大工、左官、板金などの伝統技能の披露及び子どもを対象としたものづくり体験を行った。

(3) 起業創業支援事業

事業名	事業内容
中小企業支援センター運営事業	創業や経営改善のサポートを目的に専任のコーディネーターを配置し、指導や情報提供などを行う沼津地域中小企業支援センターの運営を支援した。
知的財産活用事業	企業の技術移転や特許活用を促すため、知財活用コーディネーターを配置し、知的財産権にかかる相談対応や情報提供を行う取り組みを支援した。
ニュービジネス創出事業	中小企業が「経営革新計画」に基づいて行う新技術や新サービスの開発に要する経費の一部を支援した。
学術機関研究開発支援事業	沼津工業高等専門学校などによる研究成果や開発技術の紹介、企業参加による異業種交流セミナーなどの開催を支援した。
中小企業販路開拓支援事業	中小企業に対し、新製品の展示会出展に要する経費の一部を支援した。

(4) まちなか起業支援事業

まちなかにおける医療・福祉・教育・文化・商業といった居住を支えるサービスの起業を促進するため、起業を志す女性を対象に、有用な知識やスキルを学ぶセミナーを開催した。

(5) 企業立地促進事業

事業名	事業内容
企業立地促進事業費補助	一定規模以上の用地を取得して工場等を設置し、雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 6件 補助額 215,659,000円
中小企業設備投資促進事業費補助	建物の新增築と機械設備の導入を行い雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 4件 補助額 41,936,000円
医療関連産業集積促進事業費補助	医療関連製品の研究・製造を行うための建物や機械設備を取得した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 1件 補助額 24,395,000円

(6) イーラde管理運営事業

イーラde（大手町地区再開発ビル）の市保有床（商業床・駐車場床）の財産運用収入を財源に、沼津駅周辺総合整備基金への繰出しや保有床の管理運営に係る経費等を負担した。

(7) 各種商工業団体補助金

(単位 千円)

交付件名	交付先	金額
沼津商工会議所運営費補助金	沼津商工会議所	6,840
沼津市商工会運営費補助金	沼津市商工会	5,130
沼津市商店街連盟運営費補助金	沼津市商店街連盟	2,078
沼津中小企業相談所運営費補助金	沼津商工会議所	2,078
沼津市物産振興事業費補助金	沼津市物産振興協議会	1,500
その他の補助金	4件	1,016

第5節 労働

1 技能功労者表彰

55歳以上で30年以上同一職業に従事し、現在も第一線で活躍している技能優秀かつ後進の育成など、功労顕著な技能者の第43回表彰を行った。

○表彰職種 建築大工職ほか16職種

○被表彰者 30人

2 勤労者教育資金利子補給事業

勤労者の経済的負担を軽減するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた子弟の大学等への就学資金に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 404件

○補給額 2,719,042円

3 勤労者住宅建設資金利子補給事業

勤労者の住宅取得を支援するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた自家の新築及び増改築資金等に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 1,784件

○補給額 21,433,053円

4 勤労者育児支援資金利子補給事業

勤労者の育児支援をするため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた育児休業中の生活費、育児に必要な家具等の購入費用、出産にかかる費用、その他子育てに要する費用に対し、その利子を補給した。

○補給件数 69件

○補給額 399,126円

5 就職支援

市内企業の安定した雇用の確保と、市内外の求職者の市内企業への就労を促進するため、沼津しごと応援サイト「ぬまjob」を運営した。また、若年者の就職支援として、高校2年生を対

象とした就職意識を高め安定した就職の実現を図るキャリアアップセミナーを実施したほか、若年求職者を対象とした、市内中小企業の参加による合同面接会を開催し、雇用のマッチングを図った。

6 奨学金返還支援

学生等の市内企業への就職及び本市への定住を促進するため、日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていた学生等が、市内中小企業に就職し市内に居住した場合、その返還金の一部を補助する制度を創設した。

第6節 にぎわい・観光

都市の活力を高めるための仕掛けとして、市内外に沼津をPRするイベントの開催やアニメとの連携、日常的なにぎわいの創出、人・物・情報の交流促進、豊かな地域資源を活かした観光の振興等により、さらなるまちのにぎわいづくりを推進した。

1 にぎわいづくり

本市の持つ資源を生かし、その魅力を顕在化させるため、まちのにぎわいを高める諸事業を実施した。

- (1) 大瀬まつり、沼津夏まつりなど沼津の個性をアピールする各種イベントの支援により、地域の振興及びにぎわいづくりに向けた「燦々ぬまづ推進事業」を年間を通じて展開した。
- (2) 深海魚やタカアシガニ等、特有の地域資源の活用を図るなど戸田の魅力のアピールに努めた。
- (3) 本市が舞台のアニメ作品「ラブライブ！サンシャイン!!」との連携に加え、民間団体が行う本市のイメージアップやにぎわいを創出、発信する活動に対する支援を行い、観光客の誘致を図った。
- (4) 本市を訪れた観光客の利便性を高めるため、三の浦総合案内所、戸田観光協会などに設置している無料Wi-Fiアクセスポイントの維持管理を行った。

2 観 光 宣 伝

広報ぬまづ、市ホームページ、SNS等による観光情報の提供、観光パンフレットの発行及び旅行雑誌、テレビ、ラジオ、新聞等マスメディアの活用のほか、平成30年2月に開設した観光ポータルサイトを基軸に本市の魅力のアピールに努めるとともに、NPO法人沼津観光協会、戸田観光協会等と協力し、観光案内やイベントなどを積極的に行い、観光客の誘致を図った。なお、沼津観光案内所を、JR沼津駅ビル内に移転した。

また、沼津にゆかりのある各界の著名人に就任していただいている「燦々ぬまづ大使」を通じ、様々な場面で本市の魅力をPRした。

3 観 光 行 事

第71回沼津夏まつりを、市、商工会議所、商店街連盟、自治会連合会、NPO法人沼津観光協会の協調により実施した。7月30日・31日に狩野川花火大会を開催した。

また、沼津御用邸記念公園において、日本の伝統文化や本市ならではの食材を活用した催しなどを通じて本市の魅力をPRする「松籟の宴2018」を11月3日から11月15日までの13日間開催した。

4 海 水 浴 場

千本浜、島郷、平沢、大瀬、井田、御浜の市内6か所の海水浴場を開設し、千本浜、島郷、大瀬、井田は7月14日から8月19日までの37日間、平沢、御浜は7月14日から8月31日までの49日間、監視所を設置し、水難事故防止と負傷者の救護に努めた。海水浴客数は、6海水浴場で計13万995人であった。

5 観 光 施 設

本市を訪れる観光客に観光地等の適切な情報を提供するため、観光案内板の改修を行った。また、「我入道の渡し船」は沼津我入道漁業協同組合が、沼津港水門展望施設「びゅうお」はNPO法人沼津観光協会が、「戸田はかま滝オートキャンプ場」は戸田森林組合が、「くるら戸田」は呉竹荘&サン共同事業体が、それぞれ指定管理者として観光施設の管理運営を行った。

6 多目的展示イベント施設

コングレ・コンベンション静岡グループが、指定管理者として多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」の管理運営を行った。

7 コンベンションの誘致

国内外の各種コンベンションを誘致し、県東部地域の交流人口の拡大と地域経済や観光産業等の活性化を推進している静岡県東部地域コンベンションビューローの活動を支援した。

また、プラサヴェルデでのコンベンション開催を促進するため、主催者5団体に対する支援を行った。

8 アスクラロ沼津に対する支援

本市を拠点に活動するJ3所属のプロサッカーチームであるアスクラロ沼津に対し、ホームタウンとして医師・看護師の派遣、マッチデースポンサー等の支援を行った。

また、本市とアスクラロ沼津双方の魅力を盛り込んだ動画を作成し、互いに発信・PRを行った。

9 スポーツ交流事業の推進

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴う海外チームの事前合宿誘致を契機として、インバウンドの拡大、スポーツ愛好家の本市への来訪動機の向上を図るため、合宿受け入れに向けた各競技関係者との協議・調整を行った。

フェンシング競技の誘致に関し、公益社団法人日本フェンシング協会と継続的に協議を行う中、平成31年2月に、フェンシング競技を通じたスポーツ振興及びスポーツツーリズムによる観光振興を図ることを目的に、同協会と全国初の包括的な連携協定を締結した。

また、全国からの誘客を見込める大規模スポーツ大会・イベント誘致のため、主催団体に対し補助支援を行った。

10 サイクルツーリズムの推進

伊豆市において東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技が開催されることを踏まえ、伊豆地域に流入が見込まれるサイクリストの受け入れ環境整備のため、新規サイクリングコースの開発や自転車を活用したモニターツアー、関連施設のトイレ改修等を行った。また、NUMAZUサイクルステーション静浦東をはじめ、市内5か所にスポーツ自転車の有料レンタル事業を拡大するなど、サイクリスト誘客に向けた取り組みを行った。

11 近隣自治体との連携

(1) 狩野川周辺サイクル事業推進協議会

東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の伊豆開催を契機に、本市、伊豆市、伊豆の国市、函南町の3市1町で構成。狩野川周辺のサイクリスト誘客に向けた利活用及び地域振興の推進に取り組んできた。

本年度は、自転車修理工具や休憩場所の提供などを行うバイシクルピットの更なる整備拡大を図るとともに、エリアの魅力を発信するためのVR動画作成などを行った。

(2) 静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会

県東部の20市町、民間企業、産業支援機関等で構成。スポーツによる地域経済の活性化を目指し、スポーツツーリズム商品の開発やスポーツイベント・合宿誘致活動などの事業に取り組んできた。

本年度は、サイクルスポーツ関連イベントの開催によるサイクルツーリズムの促進などを行った。